

# 日本公共政策学会 会報 No.42 2012年12月

PPSAJ Newsletter

Public Policy Studies Association, JAPAN

<http://ppsa.jp>

## 目次

1. 2013年度研究大会の報告募集
2. 2013年度学会賞募集
3. 「公共政策フォーラム2013 in 川越」開催予告
4. 「公共政策フォーラム2012 in 篠山」開催報告
5. 日本公共政策学会第91回理事会開催
6. 新入会員の紹介
7. 次回理事会
8. 事務局からのお願い

## 1. 2013年度研究大会の報告募集

2013年度研究大会企画委員長 小澤太郎

2013年度研究大会は、2013年6月1日（土）、2日（日）、「コラッセふくしま」（福島市）で開催されます。大会での報告を以下の要領にて募集しますので、ふるってご応募ください。

「(1) 若手研究者による研究報告」、「(2) 自由公募セッション」とも、**応募は2013年2月15日（金）までに**、大会企画委員長小澤太郎宛に電子メールまたは郵送でお送りください。

- ・メール（当日までにご送信下さい） [yossy@sfc.keio.ac.jp](mailto:yossy@sfc.keio.ac.jp)
- ・郵送（当日消印有効）〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322  
慶應義塾大学総合政策学部 小澤太郎研究室

### (1) 若手研究者による研究報告の募集

日本公共政策学会では、学会に所属する若手研究者による研究報告の機会を設け、活発な研究活動が進むことを期待しています。2013年度の研究大会においても、そのセッションを設定することになりましたので、以下の要領により、研究報告を募集します。ふるってご応募ください。

▼募集内容：公共政策に関する未発表の研究成果であって、口頭により20分以内で報告、報告後に10分の討論を予定しています。報告テーマは自由ですが、原則として個人の研究発表とします。なお、セッション全体では最大12人程度の枠を予定し、後記のような手続により報告者を決定するとともに、司会者を配置することとしています。

▼報告日時：2013年6月1日（土） 詳細については、報告者に直接連絡します。

▼応募資格：日本公共政策学会の会員であって、大学院の博士後期課程在籍者又は修士学位の取得後10

年未満の者（これに相当する者を含みますが、年齢による制限はありません）。

なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、原則として電子メールで行いますので、ご注意ください。

▼報告者決定手続：以下の手続によります。

- ① 氏名・年齢・最終学歴及び学位・住所・電話番号・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要（3,000字程度）を明記した Microsoft Word またはテキストを、2013年2月15日（金）までに、電子メールに添付して送信するか、郵送してください。
- ② 報告のテーマ・概要を基に、企画委員会において報告の可否を決定し、報告を許可された者について、2013年3月15日（金）までに、その旨を通知します。
- ③ 報告を許可された者は、2013年4月15日（月）までにフルペーパー（論文集用、16,000字以内厳守）を提出してください。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可を取り消しますので、注意してください。

## (2) 自由公募セッションの募集

日本公共政策学会では、研究大会において自由公募のセッションを募集いたしております。今年度も、自由公募セッションの研究報告を募集しますので、ふるってご応募ください。

▼募集内容：公共政策に関する研究成果であって、30分以内で報告できるもので、報告後に10分の討論を予定しています。またパネルの企画を希望する場合は、1つのセッションが120分で3～4名程度の報告を予定しています。報告テーマは自由です。なお、セッション全体では120分、9件の報告枠を予定し、後記のような手続により報告者を決定するとともに、司会者を配置することにしていきます。

▼報告日時：2013年6月1日（土）または2日（日）

なお、詳細については、報告者に直接連絡いたします。

▼報告会場：「コラッセふくしま」（福島市）

▼応募資格：日本公共政策学会の会員であること

▼報告者決定手続：以下の手続によります。

- ① 氏名・住所・電話番号・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要（3,000字程度）、またパネルの企画希望の場合には、氏名・住所・電話番号・電子メールアドレス・所属、パネルの名前とすべての報告者名、討論・司会等の候補者と概要（3,000字程度）を記した Microsoft Word またはテキストを、2013年2月15日（金）までに、電子メールに添付するか、郵送してください。
- ② 報告のテーマと概要・希望パネル等の概要を基に、企画委員会において報告の採否を決定し、ご報告をお願いする会員について、2013年3月15日（金）までに、その旨を通知します。  
なお、応募状況によってはご希望に添えないこともあり得ることをご了承下さい。
- ③ 報告を依頼された会員は、2013年4月1日（月）までにレジュメ（大会案内用、A4用紙1枚程度、項目のみで可）を、また、4月15日（月）までにフルペーパー（論文集用、20,000字以内厳守）をそれぞれ提出してください。

## 2. 2013 年度学会賞募集

学会賞選考委員長 白石克孝

2013 年度学会賞の推薦（自薦・他薦）を募集します。昨年度から取り入れました募集方法で今年度も募集いたします。原則として（辞退の意思表示がない限り）学会賞自薦を兼ねます「研究活動報告書」と、学会賞の他薦がある場合にご使用いただく「学会賞推薦書（他薦用）」を、つぎの要領でお送りくださいますようお願いいたします。

- ① 日本公共政策学会 Web サイト内の以下のページから、「研究活動報告書」と学会賞の他薦がある場合にご使用いただく「学会賞推薦書（他薦用）」の Word ファイルをダウンロードする。  
<http://www.ppsa.jp/tenbo.html>
- ② 用紙にある説明に沿って、それぞれの Word ファイル（研究活動報告書、学会賞推薦書（他薦用））に入力する。
- ③ 入力済みの Word ファイルを、電子メールの添付ファイルとして、以下の宛先に送信する（学会サイトからも簡単に送信できます）。  
メール送信先： [tenbo@ppsa.jp](mailto:tenbo@ppsa.jp) （「研究活動報告書」・「学会賞推薦書（他薦用）」とも共通）  
メールの件名：研究活動報告書の場合は「活動報告（氏名）」  
学会賞の他薦の場合は「学会賞推薦」 ※両方の場合は件名を併記してください  
締切：2013 年 1 月 27 日（日）24:00
- ④ 「研究活動報告書」に入力されたご自身の研究業績または推薦されました対象者の研究業績（著書の現物、論文の抜刷・コピーなど）を、つぎの宛先に郵送する。（メール送信済みの「研究活動報告書」などを印字して同封していただく必要はありません。）  
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67  
龍谷大学 政策学部 白石研究室 宛  
締切：2013 年 1 月 27 日（日）必着

昨年度から、「研究活動報告書」を郵送方式からメール方式に変更しております。「研究活動報告書」をおもな情報源として作成される『公共政策研究』掲載の「学界展望」において、誤記が発生して会員にご迷惑がかかるのを防止するためです。会員の皆様には、ご理解とご協力のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

### 学会賞選考要項

#### 目 的

- ① 「公共政策」分野の研究の学術的な進展を促進する。
- ② 学会活動の一層の発展のため、優れた研究者を発掘する。
- ③ 新進気鋭の研究者に入会のインセンティブを与える。
- ④ 公共政策関連の学術的な「情報共有」を広く会員間で図る。

#### 賞の種別と対象

- ① 作品賞は、公共政策研究分野を代表する著書を対象とする。学界をリードしてきた研究者による集大成的業

績を想定し、会員の著書を中心とするが、非会員の著書も検討対象に含みうる。共著も検討対象とする。

- ② 著作賞は、会員の優れた著書を対象とする。
- ③ 論説賞は、会員の優れた学術論文を対象とする。
- ④ 奨励賞は、研究歴が比較的浅く、将来を期待できる研究者の博士論文あるいは著作物を主たる対象とする。博士論文の場合、博士課程において授与された論文を原則とし、博士論文をもとにした刊行物も対象に加える。受賞候補者が選考時点で非会員である場合には、入会することを条件として授与する。

#### 刊行時期

- ① 2012年1月～12月刊行の著書。
- ② 2012年1月～12月刊行の会員による著書。
- ③ 2012年1月～12月発表の会員による学術論文。
- ④ 2012年1-12月に学位取得した会員による博士論文、同時期に刊行された会員による著作または学術論文。

#### 表彰

- ① 賞状と楯を受賞者に授与する。
- ② 学会総会場で受賞者を発表し、授与式を行う。

#### 選考基準

- ① 作品賞については、その年の政策研究を代表する業績であって、学会賞大賞としてふさわしい著書とする。
- ② 著作賞、論説賞、奨励賞については、(1) 論説の独創性、(2) 研究テーマの発展性、(3) 内容の学術的水準、(4) 社会的インパクト、(5) 政策研究のテーマとしての妥当性という観点から評価して選考する。

#### 選考手続き

- ① 会員からの自薦・他薦によって候補作を募り、選考委員が把握した情報を加えて、推薦作を特定する。会員には、研究活動報告書の提出とともに研究成果物(現物・抜刷等)を送付してもらうよう依頼し、特段の選考辞退の意思表示がない限り、自動的に自薦作として扱うこととする。
- ② 5つの小委員会(法律、経済、国際関係、政治・行政、地方行財政)を設け、各小委員会第1次選考を行う。
- ③ 学会賞選考委員長(学会副会長)、学会会長・事務局長、各小委員長の合計8名で第2次選考を行い、最終決定とする。
- ④ 5つの小委員会は、小委員長を含めて3～5名の小委員により構成し、小委員の選任は小委員長に委ねる。小委員は、原則として会員から選任する。

#### 選考スケジュール

- ① 学会賞候補作の自薦・他薦の依頼を、2012年12月に刊行される会報に掲載するとともに、学会ホームページ上で情報の周知に努める。
- ② 研究活動報告書(原則として自薦を兼ねる)・他薦用紙および研究成果物の提出締切を、2013年1月27日(日)とする。選考委員長は、1月末頃に選考対象業績の情報・現物等の各小委員会への割振りを行い、2月上旬より各小委員会において第1次選考を開始し、4月上旬までに終了する。
- ③ 各小委員長からの第1次選考の審査報告を受けて、4月上旬から第2次選考を行って受賞作を決定し、原則として4月下旬に予定されている理事会に報告する。
- ④ 4月理事会の終了後、受賞者に結果を通知する。

#### 選考委員会

2013年度学会賞選考委員会および小委員会の委員長は、以下の通りとする。

- 学会賞選考委員長(学会副会長)：白石克孝(龍谷大学)  
学 会 会 長：新川達郎(同志社大学)  
学 会 事 務 局 長：武蔵勝宏(同志社大学)  
法 律 小 委 員 会：委員長＝出石 稔(関東学院大学)  
経 済 小 委 員 会：委員長＝奥井克美(追手門学院大学)  
国 際 関 係 小 委 員 会：委員長＝佐藤丙午(拓殖大学)  
政 治 ・ 行 政 小 委 員 会：委員長＝真淵 勝(京都大学)  
地 方 行 財 政 小 委 員 会：委員長＝曾我謙悟(神戸大学)

### 3. 「公共政策フォーラム 2013 in 川越」開催予告

来年度の公共政策フォーラムは、2013年9月28日（土）、29日（日）に埼玉県川越市で開催されます。詳細は追ってお知らせしますが、ふるってご参加いただきたくお誘いいたします。

### 4. 「公共政策フォーラム 2012 in 篠山」開催報告

公共政策フォーラム委員長 林沼敏弘

本年度の公共政策フォーラムは、2012年10月27日・28日・29日の3日間にわたり実施された「なつかしいみらい。創造農村フォーラム」の中の1つのプログラムとして、兵庫県篠山市との共催で篠山市民センターを会場として開催され、3日間で延べ約700名近い参加を得ました。

今年度の学生政策コンペは「地域再生～創造的なまちづくりと農村・地方都市の可能性」というテーマで、17大学の21チームが参加していただきました。地域の方も多く参加していただき、約300名の参加を得ました。

審査の結果下記の5チームが入賞しました。

#### ▼学生政策コンペ入賞チーム

- ・日本公共政策学会会長賞  
中央大学 細野助博ゼミ  
「『都会に負けない』魅力づくり」
- ・篠山市長賞  
大東文化大学 齊藤博ゼミ  
「『シビック』が溢れる地域社会」
- ・兵庫県丹波県民局長賞  
北九州市立大学 檜原真二ゼミ  
「都市部周辺・混在型農村地域の再生」
- ・篠山市議会議長賞  
大阪大学 公共政策研究会  
「21世紀日本における地域再生の展望」
- ・篠山市教育長賞  
名古屋学院大学 LiNKs  
「コンテンツツーリズムによる地域活性化」

学生政策コンペ終了後、「創造性を活かす環境と公共政策」というテーマで、片山泰輔さん（静岡文化芸術大学）の記念講演が開催されました。

また、ユニトピアささやまで開催された交流会も、学会関係者、学生政策コンペ参加者のほか、市長はじめ篠山市職員の方々など200名を超える参加があり、有意義なものとなりました。

2日目(28日)の午前には「丹波地域大学連携フォーラム in 篠山」が「学生たちとつくる地域のみ

らい」をテーマに、兵庫県丹波地域に活動拠点を置く4大学(関西大学、関西学院大学、兵庫県立大学、神戸大学)の学生や地域住民、そして、学生政策コンペ出場校の学生も参加してワークショップが開催されました。

同時刻に、集落で運営する古民家オーベルジュ「集落丸山」の見学と古民家再生、古民家オーベルジュについて話をうかがう「篠山クリエイティブ農村ツアー」が行われました。

午後には「第2回創造農村ワークショップ」が開催され、基調報告として、前日の学生コンペにおいて公共政策学会会長賞の中央大学細野ゼミのプレゼンテーションや丹波地域連携フォーラムの報告、そして、篠山市創造農村ワークショップの報告の後、「創造農村への道標 ～懐かしい未来～」をテーマとし、佐々木雅幸さん(大阪市立大学教授)のコーディネートにより、大南信也さん(NPO 法人グリーンバレー)、阿部知弘さん(山形県鶴岡市)、牧大介さん(株式会社西粟倉・森の学校代表取締役)、清水雄太さん(東京島しょ農業協同組合)、金野幸雄さん(流通科学大学/一般社団法人ノオト)をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。

今回のフォーラムで実施されたプログラムやイベントは、学生政策コンペの他、丹波地域大学連携フォーラム in 篠山、第2回 創造農村ワークショップ、創造都市ネットワークミーティング、創造農村マルシェ、創造農村企画展示ブース、篠山クリエイティブ農村ツアー、ササヤ・バル&懇親会、里山ランチと多彩なものでした。このような地域の取り組みとともに公共政策フォーラムが開催されたことは、学生の政策力の向上と同時に、地域との交流が図られ、有意義なものになりました。

## 5. 日本公共政策学会第91回理事会開催

2012年10月27日(土)に、篠山市民センターにおいて、第91回理事会が開催されました。

## 6. 新入会員の紹介

屋宜真理子 大谷基道 加藤洋平 中山賢司 川北泰伸 加藤雅俊 竹中治堅 間中健介  
小寺敏史 岩浅昌幸 小田義幸 一瀬敏弘 井口貢 古橋亮 以上14名の方が入会されました。

## 7. 次回理事会

・開催日時：2013年1月26日(土)

15:00～17:30 理事会

・開催場所：同志社大学新町キャンパス 溪水館 1F 会議室(京都市上京区新町通今出川上ル)

[http://www.doshisha.ac.jp/access/ima\\_campus.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html)

\*新町キャンパスは今出川キャンパスとは異なります。

新町キャンパスへは、京都市営地下鉄 烏丸線〔今出川〕駅④番出口から、今出川通りを西進し、新町通りを北進してください。(徒歩5分程度) \*駐車場はございません。

## 8. 事務局からのお願い

会員の皆様の所属先、住所や郵送先等に変更があった場合は、必ず事務局までメールまたははがきでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

## 会報パスワードについて

学会ホームページに掲載されています過去の会報のバックナンバーの閲覧についてはパスワードが必要です。会員宛てに送付されています会報誌末尾に掲載してありますパスワードをご使用ください。なお、本号はパスワードなしで閲覧できます。

## 日本公共政策学会 会報 第42号

2012年12月15日発行

編集・発行 日本公共政策学会事務局

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

同志社大学政策学部 武蔵研究室

電子メール : jimukyoku@ppsa.jp

郵便振替口座:01090-2-44655 日本公共政策学会

学会ホームページ : <http://ppsa.jp/>

**PPSAJ Newsletter No.42 Dec 2012**

*Copyright 2012 Public Policy Studies Association,  
Japan*